



西南学院大学

図書館報

№. 92

昭和57年（1982年）7月5日発行

〒 814

福岡市早良区西新6丁目2番92号

西南学院大学図書館

読書とアイデアの開発

文学部教授 黒瀬 保

最近の傾向を見ると、たとえば半導体にせよ集積回路にせよ、売れているのはアイデアであり、それが輸出産業の大きな比重を占めて来ている。古いものを保存しようとする伝統工芸にしても、生活に適合する創意工夫を加えなければその価値を失いかねない。時代を先取りすることが必要で、そのためには、これまでとは一味違う観念を持たなければならない。しかし、基礎となるのは、やはり地味な読書と調査の作業である。

書物を読まなければ新しい物の見方は出て来ない。しかし読んでいればそれが常に可能であるとは限らない。ここに、どんなものを読めばよいか、またどんな角度から書物にアプローチすればよいか、と言う問題が生れる。こうなると、視野の狭い筆者にとって僅かにわかるのは、外国文学、特に英文学と言うことになってしまう。従って英文学を中心として数種の基本的な書物に触れ、新しい着想との係り合いを考えざるを得ない羽目になる。

それにしても、書物は正確に読まなければ意味がない。そしてそのためにはある程度の文法の知識が必要となる。この点、Otto Jespersen, *Essentials of English Grammar* は誰にでも推奨できる良書である。文学やそのほかの分野の研究に語学の知識など必要でないと言うような見解を持つ人もいるかも知れないが、実は、この文法書を本邦で最初に論評紹介したのは、英文学者として、またシュールレアリズム詩人として幅広い活躍をされた慶応義塾大学のかつての教授西脇

順三郎先生であった。Henry Bradley, *The Making of English* が、また、ことばのセンスを養うのに最適の書物で、これは本年、東京大学の寺澤芳雄先生により、『英語発達小史』として岩波文庫版で、序文と注釈を加えて訳出された。古典的書としての誇りを受けるかも知れないが、両者は語学と文学とを問わず、一般に教養の書となり、読書と理解の精密度をたかめるよすがとなる書である。

外国文学や美術史の理解を深めるための、さらに一つの苗床は哲学的知識であろう。複雑な現代文学は別として、16世紀ころまでの西洋古典の場合、文芸思想の源泉となっているのはプラトン哲学である。そして特に推奨してよいのは、新プラトン学派最後の哲学者といわれる5世紀から6世紀ごろのボエティウス作『哲学の慰め』であり、これは英国の中世詩人チョーサーの教養の書として、また彼が息子の教育のために英訳した書として著名である。The Loeb Classical Library (Heinemann, Harvard U.P.) にラテン語の原文と現代英語訳との対訳があるので、和訳にたよるよりも、むしろこの方が援用には便利である。

特定の分野に片寄らないで、色々と読書するのがよい。しかし新しいアイデアは、夢中に書物を読んでいる時に生れるのではなく、むしろ散歩している時とか寝る前とかに、ふと思いつくのではあるまいかと言うのが筆者の感想である。

(英文学)

商学部助教授 小 川 雄 平

来春卒業の諸君は、そろそろ卒論の準備を始め出す頃かもしれない。私も、ああでもない、こうでもない、テーマを決めかねた記憶がある。テーマが決まらなければ、それもある程度絞られたものでなければ、論文は書けない。とは言っても最初は漠然としたテーマしか決まらないものである。いずれ絞られて来るものだから、それはそれで気にする必要はない。

テーマが決まったところで、次に本格的な卒論の作り方を紹介しよう。“糊と鉄”のインスタントものもあるけれど、卒論は学生時代のメモリアル、悪戦苦闘を覚悟で本物に取り組んでみよう。

＜用意するもの＞

カード (B 6 判) 1 束、大判ノート 1 冊、白紙 (B 4 大) 1 枚、指定原稿用紙 1 ～ 2 冊、国語辞典、鉛筆、消ゴム、マジック・インキ、ペン。

＜作り方＞

①図書館の検索カードを繰って関係文献を探す。手間隙

かけようという向きは『経済評論』を 5 年分程借り出し、巻末の「文献月報」を調べて関係文献を拾い出す。これを図書館から借り出す。雑誌論文の場合はコピーを頼む。

②該当文献を精読し、重要箇所をカードにメモしておく。この時、カードの上部に内容の見出しを付けておくとう便利である。

③メモ・カードを眺めながらプロットをたてる。大雑把な章別構成を考えてマジックで白紙に書きとめ、机の前にでも貼っておく。これを睨んで、章別構成をより詳細なものにしていく。

④ノートの左頁だけを使って鉛筆で下書きをする。空いた右頁で直せばよいから、気楽に書き出すと良い。この時、ノート 1 頁が原稿用紙何枚分に相当するかを換算し、長さを調整する。国語辞典を手許に置き、誤字・当て字に気を付ける。

⑤下書きをもとに、ペンで清書すれば出来上り。

(貿易論)

卒業論文の書き方



経済学部助教授 江 副 憲 昭

学生にとって卒業論文の作成は大変な仕事である。そこで、論文を書く際に参考になりそうなポイントを示してみよう。

1. 論文のテーマの決定：テーマがしぼれず迷っている人は、次のようなものがないかどうかを考えよう。

④日頃から興味をもち、さらに詳しく知りたい問題。
⑤予備知識をもっている問題。⑥資料や参考文献を集めやすい問題。このなかから何かのテーマを選んでみる。それもない人は担当教授に決めてもらうべきだろう。

2. 関連文献、データの収集：次に決めたテーマに沿って文献、データを集める。そしてこの文献を読んでいきノートやメモをとる。この段階ではじめのテーマが思ったように展開することはむしろ稀である。文献を読んでいるうちにうまくまとまらず自信を喪失することが多い。そこでさらに別の文献をさがして読みなおす。それをつづけてもうまくいかないときには、テーマの内容の再検討をしよう。それまで集積した知識をもとにテーマ

の修正をする。はじめのテーマは、具体的に文献と取り組むうちに適当に変更され固まってくる。この段階が論文作成の最もハードな時期である。

3. 論文の構成：次に検討した文献から作ったノートを整理し、論文の構成を考える。論文の内容が十分でないと感じたら、さらに文献資料を増やさねばならない。論文の構成が固まる頃は、論文の完成まではあと一歩である。ここまでで、全体のほとんどの精力を注がねばならない。

4. 論文の執筆：以上の準備のもとで原稿の下書きをする。それを推敲して清書する。それに参考文献をつけると完成する。長い苦労の後でようやく到達した成果は、愛着がわく。そして大きく成長した自分を発見する。この自信が未来の世界を開くのである。だが、満足するものを作るには時間が必要である。だから早く着手することが一番大切である。

(近代経済学)



大学図書館の機能

フルブライト招聘教授

John A. McKinstry

I believe that the strength of an educational institution lies first of all in the background and skill of its teaching staff. Very close behind this factor in importance regarding how effective an educational institution can be is the quality of its library.

Probably the public most often thinks of university libraries as mainly serving student populations. And of course the degree of access of current information and commentary is an important measure of the quality of education available at any institution.

Learning is only begun in the classroom; it is extended to a greater maturity through individual student pursuit — and a high quality library is necessary for this.

University instructors are professional scholars and professional teachers. The library is their intellectual food through, without which they cannot sustain their activity. In the case of research this is completely evident, rather unnecessary to even mention. But in teaching as well, the quick availability of a wide range of resource material is crucial to fine quality teaching — and students and the society deserve excellence in teaching to the extent possible for every individual instructor.

I taught for a summer a few years back at a small junior college about fifty miles from my regular university post. It was a resort town, very pleasant; the campus was beautiful. The institution had not invested in a quality library, however. The volume of books was small, the periodical holdings were hopelessly inadequate, and even well known recent works in my field were not to be found. I had planned no research that summer, and at first did not consider the issue of an inadequate library to be important. But I soon realized that my teaching was suffering because I could not so quickly check facts and consult others opinions.

True, few of us use a university library every day. It is extremely important that one be there however, even if we consult it only once in several weeks. It is an extension of our intellects, and the library staff is our eyes and ears into those intellectual reaches.

To all of you in library work: Be aware of the crucial importance of your services. You keep the nerve system of the university functioning.

(California Polytechnic State Univ., 来年3月まで滞在予定)

レファレンス事例(9)

参 考 係

最近利用者から寄せられた参考質問のうちから、2・3の事例を紹介して、他の利用者の参考に供したい。

【質問1】 札幌農学校の初代校長 Clark 博士が、帰国に際して学生諸君に残した言葉として有名な、Boys be Ambitious (少年よ、大志をいだけ) に続く言葉があると思うがそれを知りたい。

回答例：「英米故事伝説辞典」増補版 井上義昌編(富山房、昭47)の後半 Supplement に載っている。

この辞典は、個々の項目の説明の最後に引用資料名が出ていて、それから出典にあたられるので有益である。それによると、原文は次のようになっている。

“Boys, be ambitious(in the glory of God) ! Be ambitious not for money or for selfish aggrandizement, not for that evanescent thing which men call fame. Be ambitious for the attainment of all that a man ought to be”(「明治初期教育思想の研究」稲富栄次郎著などから)

【質問2】 蒸気機関の個数の数え方(呼び名)を知りたい。

回答例：「商用単位辞典」篠崎晃雄(実業之日本社、昭49)、その他百科事典、機械工学辞典等を見たが記載がなかった。蒸気機関車になると、一輛(両)、二輛(両)と呼ぶとある。多分一基、二基と数えるのではないかと、という利用者の質問であった。

【質問3】 1981年の世界大企業の上位 100傑を知りたい。

回答例：「Fortune」誌の5月号に毎年、前年のアメリカ大企業上位500社が載る。6月号に501位から1,000位までの番付が出ている。

そして8月号にアメリカ以外の上位 500傑とアメリカを含んだ世界の番付が出ている。

【質問4】 1977年にフランス語の原著から日本語へ翻訳出版された図書の点数を知りたい。

回答例：「Index translationum」30(1977)(Unesco、1981)を見ると、1977年に日本語への翻訳出

版点数が、2,489点であることがわかるが、フランス語から日本語への翻訳点数が何点であるかはわからない。しかし一点一点について何語から日本語へ翻訳されたかは載っているの、フランス語から翻訳されたものだけを探せばわかる。

【質問5】 日本の工業統計表、商業統計表にあたる、イギリスのものを知りたい。

回答例：国連が刊行する、Bibliography of industrial and distributive trade statistics.(Dept. of International Economic and Social Affairs. Statistical Office. Ser. M, No.36, Rev.5) 1981

[E. 81, XVII, 5] (ST/ESA/STAT/SER, M/36/Rev. 5) に載っている。これは国連加盟国で刊行されている統計資料のうち、工業および商業関係の統計データを掲載する資料を各国別に記し、それに簡単な解説を付している。

【関連質問】 イギリスの小売物価指数の推移を、過去10年間位にさかのぼって調べたいか何を見たらよいか。

回答例：世界各国のいろんな統計データを調べるとき、そのデータが何を見たら載っているか、というときに使用するのが、

Statistical Sources. 4th ed. Wasserman-Pashar (Gale Research, 1974) である。

【質問6】 EC学会が最近発足したということですが、その事務局や規約等を知りたい。

回答例：「月刊ECジャーナル」56号(昭55.12)に載っている。それによるとオ1回が、昭和55年11月に立命館大学で開かれている。規約もこれに出ている。

なおオ2回は昨年の11月学習院大学で開かれていて、オ3回は今年の11月6、7日に神戸大学において開催される予定になっている。(同上68号、昭56.12)

また学会機関誌「日本EC学会年報」創刊号が昭和56年11月に刊行された。これの巻末にも出ている。

なお正式名称は、「日本EC学会」で、事務局は慶応義塾大学平研究室717号となっている。

昭和56年度 図書館各種統計

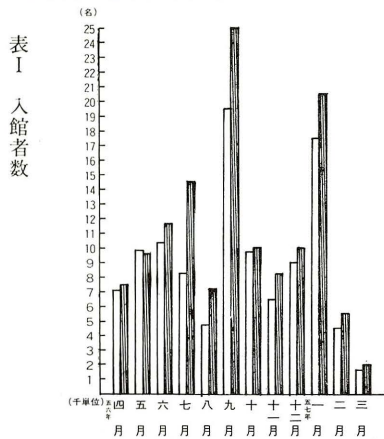
●どんな内容のものがどれだけ増加したか

(単位:冊数)

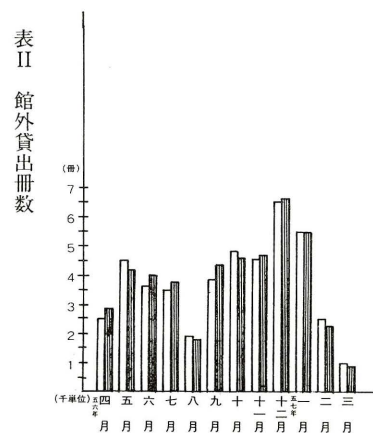
分類	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計
区分	総記	哲学	歴史	社会科学	自然科学	工学	産業	芸術	語学	文学	
和書	874	917	892	5,341	715	305	793	464	391	1,298	11,990
洋書	529	562	675	2,843	243	90	427	173	804	1,741	8,087
計	1,403	1,479	1,567	8,184	958	395	1,220	637	1,195	3,039	20,077
55年度 和洋合計	1,016	1,509	1,300	7,954	695	329	1,280	1,078	1,678	4,210	21,049

視 聴 覚 資 料						
レコード	テープ	マイクロ フィルム	マイクロ フィッシュ	フィルム スライド	絵 話	計
20枚	22リール	109リール	8点	0	0	159件

●この2年間にどれだけ利用されたか



5556
年 度



●その他の利用統計 ※ () 内は55年度

○文 献 複 写

利用者区分	種別	電 子 複 写		マイクロフィルム からの引伸	
		件	枚	件	枚
学 内	教員	1,014	28,579	1	6
	学生	5,834	46,527	0	0
学 外		451	7,855	0	0
合 計		7,299	82,961	1	6

○特別利用者 322名 (311)

卒業生	213名 (234)	聴講生	20名 (15)
相互利用	72名 (47)	その他	17名 (15)

利用内容 (目的)

- 自己の職業のための研究 71名
- 公務員(教職を含む)試験のため 28名
- 司法、会計、税理等の資格試験のため 36名
- 学習研究のため 107名
- 資料閲覧のみ 80名

○他大学図書館へ本学々生の相互利用希望 36件 (59)

○視聴覚機器貸出 10件 (9)

○学生の図書購入希望 278件 (365)

○投 書 2件 (2)

○紛失弁償図書冊数 21冊 (22)

○閉架図書閲覧者 2,659名 (2,641)

その内訳

卒業論文	284名 (304)
図 書	817名 (1,043)
レ コ ー ド	116名 (40)
その他 (新聞・雑誌)	1,442名 (1,254)

☆ ニュース・お知らせ ☆

＜図書館委員会＞

- 57.4.23 ① 57年度共通研究図書費、一般図書費、
新聞雑誌費の配分について。
② 57年度私大助成の申請について。

＜研修・出張＞

- 57年度私大図書館協会九州地区協議会
57.4.26 於：鹿児島 城山共済会館
糸園館長、刀根司書長出席
- 57年度九州地区大学図書館協議会総会
57.4.27 於：鹿児島 城山共済会館
糸園館長、刀根司書長出席
- JOIS入門研修会
(日本科学技術情報センター主催)
57.5.12 於：福岡朝日ビル
杉野司書出席
- オ3回(1982年度)EDCセミナー
57.5.24～25 於：中央大学
今永課長補佐出席
- 57年度福岡県・佐賀県大学図書館協議会総会
57.5.25 於：佐賀 葉がくれ荘
刀根司書長、西納司書出席
- 57年度私大図書館協会春季西地区部会
57.6.4 於：帝塚山大学
糸園館長出席

＜新図書館委員紹介＞(任期S.57.7.1～58.6.30)

1. 神 学 中 村 和 夫
2. 英 文 久 屋 孝 夫
3. フランス語 中 村 栄 子
4. 商 学 小 川 雄 平
5. 経 済 尾 上 修 悟
6. 法 学 高 橋 貞 夫
7. 教 養 菱 谷 晋 介
8. 児 教 中 川 ノ ブ

＜人 事＞ S57.7.1付

松本 容子(図書館より庶務課へ)
吉村加代子(西南会館より図書館へ)

＜児教関係図書・雑誌を3階へ移転予定＞

現在4階開架閲覧室には、法学、児教、文学(英・仏)、
Japan Studies 関係図書・雑誌を配架していますが、書
架が満杯となりましたので、このうち児教関係図書・雑
誌のみを3階に移すことにしました。移動作業は夏季休
暇中に行う予定にしています。

告 知 板

- 夏休み長期貸出
6月30日(水)より。
冊数は5冊以内で返却期限は9月20日(月)まで。
貸出対象は学部学生、専攻科生、大学院生(20冊
まで)のみ。
- 夏季休暇中の開館および休館
開館 日曜日を除く毎日 9:15～21:00
休館 7月27日(火)、28日(水)は職員修養会。
8月13日(金)、14日(土)は盆休み。
1階学習室は休暇中閉室
- 卒業年次生のための特別利用
①貸 出
卒論作成のための貸出があります。通常の貸出
のほかに3冊以内、1ヵ月間利用することができます。
グリーン卒論用帯出証で利用します。
- ②先輩の卒業論文の閲覧
卒論作成の参考に諸先輩の卒論を閲覧すること
ができます。
- ①、②いずれもゼミ担当教授の承認を得なければ
なりませんので、希望者はあらかじめ受付に申し
出て用紙の交付をうけてください。

昭和57年度 指定図書目録

(Reserved Books)

指定図書とは、講義担当の先生方が、その講義に直接関連して学生に必ず参考にしてもらいたい図書を指定されたものです。年間を通じて2階閲覧室に備えております。なお、講義区分は学生便覧を参考にしました。

教養課程・文学部 (国際文化)

江 副 憲 昭 <経済学>

- 現代経済の常識 新野幸次郎 (他) 有斐閣
 経済学入門 荒 憲治郎 (他) 有斐閣
 入門マクロ経済学 中谷 巖 日本評論社
 入門日本経済 新訂 金森久雄 中央経済社
 市民のための経済入門 力石定一 有斐閣

古 澤 嘉 生 <キリスト教学III>

- キリストとその教え 斉藤 勇 自由学園出版局
 賛美歌—その歴史と背景— 原 恵 日本基督教団出版
 賛美歌研究 斉藤 勇 研究社
 賛美歌の研究 竹内 信 日本基督教団出版
 賛美の詩と音楽 由木 康 教文館

<キリスト教学IV>

- St. Matthew Passion. Bach Ernst Eulenburg
 J.S.バッハ マタイ受難曲 スコア

全音楽譜出版社

- J.S.バッハ マタイ受難曲 濱田徳昭 龍吟社
 キリスト教音楽の歴史 辻 莊一 日本基督教団出版
 教皇マルチェッルスのみさ パレストリーナ カワイ出版
 マタイ受難曲 リリンク シンフォニア

- Missa Papae Marcelli, Palestrina Chester

<音楽>

- 現代音楽を語る サミュエル 芸術現代社
 二十世紀の音楽 シュトウッケンシュミット 平凡社
 音楽の様式と思想 シェーンベルグ 三一書房
 音楽史の名曲 美山良夫 (他) 春秋社
 西洋音楽史 4 印象派以後 柴田南雄 音楽之友社
 西洋音楽史概説 門馬直美 春秋社
 世界音楽史 ヴィオラ 音楽之友社

菱 谷 晋 介 <心理学>

- アヴェロンの野生児 イタール 福村出版

- 心の実験室 1・2 磯貝芳郎 (他) 福村出版
 認知の心理学 マニス 福村出版
 心理学的測定法 オ2版 田中良久 東大出版会

河 野 信 子 <キリスト教学 I>

- キリスト教概論 浅野順一 創文社
 キリスト教概説 米倉 充 創文社

<演習>

- アメリカ ピューリタン研究 柳生 望 日本基督教団出版

- ピューリタニズムの倫理思想 大木英夫 (調査中)

- A religious history of American people.

- Ahlstrom Yale Univ.

- 清教徒 石原兵永 山本書店

久 屋 孝 夫 <英語 (1)>

- 道具としての英語 (別冊宝島2) JICC出版局
 続・道具としての英語 (別冊宝島14) JICC出版局
 人生読本 外国語 河出書房新社
 ことば教育 村田栄一 筑摩書房
 人間を決めるもの遺伝か環境か ギリー 紀伊國屋
 沖縄の混血児と母たち 福地曠昭 青い海出版社

<英語 (2)>

- 英語と日本人 太田雄三 TBSブリタニカ
 英会話オールラウンド教本 向鎌治郎 研究社
 「英会話」私情 富岡多恵子 日本ブリタニカ
 ことばの磁界 成瀬武史 文化評論出版
 落ちこぼれの英語修行 國弘正雄 日本英語教育協会

松 本 達 郎 <自然科学概論>

- 生命を探る 改訂版 江上不二夫 岩波書店

<地学>

- 活断層 金子史朗 講談社
 宇宙・地球・人間 I・II クラウド 岩波書店

<進化論>

- 遺伝学から見た人類の未来 木村資生 培風館
 Man the tool-maker. Oakley British Museum

松 村 敬 治 <化学 (1・2・3)>

物質とは何か 水島三一郎 講談社
 一般化学 上・下 Petrucci 廣川書店
 化学元素物語 カレーリン 東京図書
 身近な現象の化学 日本化学会 (編) 培風館
 <化学 (4)>

分子の構造をきめる Barrow 化学同人
 物理学読本 朝永振一郎 みすず書房
 化学結合を考える 飯島孝夫 (他) 講談社
 量子力学の世界 片山泰久 講談社
 単位の進化 高田誠二 講談社

西 井 龍 生 <法学>

不当労働行為論 中山和久 一粒社
 刑事労働裁判の展開 島田信義 一粒社

斎 藤 末 弘 <現代日本文学概論>

影と光と 斎藤末弘 ヨルダン社
 <文献講読 III>
 椎名麟三の文学 斎藤末弘 桜楓社
 椎名麟三信仰著作集 4 愛について 教文館

白 樫 三 四 郎 <社会心理学>

現代の心理学 浜田哲郎 (他) 朝倉書店
 経営の行動科学 リッカート ダイアモンド社
 人間関係の社会心理学 古畑和孝 サイエンス社
 集団行動の心理学 佐々木薫 (他) 有斐閣
 組織の行動科学 リッカート ダイアモンド社

田 村 茂 夫 <法学>

概説フランス法 上 山口俊夫 東大出版会
 ハーヴァート ロー スクール 田中英夫 日本評論社
 法学部学生のための法律学概論 沢井裕 (他) 有斐閣
 法学入門 三ヶ月章 弘文堂
 イギリス法原理 ゲルダート 東大出版会

堤 啓次郎 <日本史概論>

歴史をみる眼 堀米庸三 NHK
 歴史と歴史学 斎藤孝 東大出版会
 歴史とは何か カー 岩波書店
 歴史とはなにか エロフェーエフ 大月書店
 史学概論 太田秀通 学生社
 <日本近代史> <文 献 講 読> <演 習>

自由民権 後藤靖 中央公論社
 日本近代国家の形成 原口清 岩波書店
 日本近代史 (I) 遠山茂樹 岩波書店
 シンポジウム日本歴史 オ15巻 明治維新 学生社
 体系日本歴史 オ5巻 明治国家 田中彰 日本評論社

文学部 (英語・英文)

安 徳 典 光 <英作文>

Improving writing. Casty Prentice-Hall
 Prentice Hall handbook for Writers. Leggett Prentice-Hall
 Rules for composers and readers. Hart Oxford Univ.
 Structure, style and communication in English. Branford Oxford Univ.
 Writing today. Moody Prentice-Hall

<演習>

Britain in the modern world. Nash Penguin
 英国病の経済学 ベーコン (他) 学習研究社
 England in the 20th century. Thomson Penguin
 現代英国人論 ワトキンス 秀文インタナショナル
 樞の根 オフチンニコフ サイマル出版社

江 崎 義 彦 <英文学講読 (詩)>

コウルリッジ研究 桂田利吉 法大出版局
 イギリス ロマン派詩人 磯田光一 河出書房新社
 虚空の開拓 上島建吉 研究社
 若きワーズワス 前川俊一 英宝社
 ワーズワス点描 添田透 大阪教育図書
 <演習>

Prometheus unbound. Shelley 研究社
 シェリー スペンダー 研究社
 Shelley. 矢野禾積 研究社
 シェリー研究 高橋規矩 桐原書店
 シェリーと英詩の伝統 鈴木弘 北星堂

古 屋 靖 二 <演習>

Shakespeare's tragedies of love. Mason Chatto
 シェイクスピアと愛の伝統 大山敏子 研究社
 ホートン, F.M. <英文学特殊講義> <スピーチI>
 Fundamentals of public speaking. 3 vols. Bryant Appleton-Century
 Principles and types of speech. Ehninger Scott, Foresman

久 屋 孝 夫 <英文法>

英独比較文法 前島儀一郎 大学書林
 英仏比較文法 前島儀一郎 大学書林
 世界の言語 北村甫 大修館

<英作文>

- 知的対決の方法 松本道弘 産業能率短大
 動詞人間学 作田啓一 (他) 講談社
 状況から 小田実 岩波書店
 日本語と論理 大出昆 講談社
 日本人の論理構造 板坂元 講談社

<演習>

- Computation in linguistics. Garvin Indiana Univ.
 英語修辭法 大山敏子 篠崎書林
 因子分析法 安本美典 培風館
 Investigating English style. Crystal Longman
 講座日本語学 8 文体史 明治書院
 レトリック感覚 佐藤信夫 講談社
 レトリック認識 佐藤信夫 講談社

真 鍋 誠 <英文学講讀 (批評)>

- Phoenix H. Lawrence Heinemann
 佐渡谷 重 信 <米文学史>
 アメリカ文学思潮史 福田陸太郎 中教出版
 概説アメリカ文学史 横沢二郎 (他) 金星堂
 原典アメリカ史 1~3 アメリカ学会 (編) 岩波書店

<比較文学>

- 比較文学 ティーゲム 清水弘文堂
 比較文学の理論 (講座比較文学4) 東大出版会
 日本近代文学の成立 上・下 佐渡谷重信 明治書院
 漱石と世紀末芸術 佐渡谷重信 美術公論社

文学部 (仏語・仏文)

中 村 栄 子 <フランス文学概論>

- フランス文学講座 全6巻 大修館
 フランス文学史 饗庭孝男 (他) 白水社

富 盛 伸 夫 <フランス語史>

- 危ない話 松原秀一 白水社
 フランス語の歴史 島岡茂 大学書林
 フランス語の進化と構造 ヴァルトブルク 白水社
 フランス語史 ショーラン 白水社
 現代フランス語のできるまで 家島光一郎 (他) 白水社
 ことばの背景 松原秀一 白水社

<フランス文明論講読>

- 昔話の魔力 ベッテルハイム 評論社
 昔話の深層 河合隼雄 福音館
 昔話とメルヘン ライエン 岩崎美術社
 メルヘンと女性心理 フランツ 海鳴社
 ヨーロッパの昔話 リューティ 岩崎美術社

商 学 部

後 藤 泰 二 <保険論>

- 保険経済概論 馬場克三 (他) 国元書房
 生命保険論 庭田範秋 (編) 有斐閣
 損害保険論 木村栄一 (編) 有斐閣

<企業形態論> <演習 I・II>

- 現代株式会社の支配機構 後藤泰二 (他) ミネルヴァ書房
 株式会社金融論 馬場克三 千倉書房

浜 田 和 樹 <分析会計論>

- 現代財務諸表分析 バルークレブ 東洋経済
 情報化時代の経営分析 奥野忠一 (他) 東大出版会
 管理のための財務諸表 高橋吉之助 中央経済社
 経営計画と経営分析 後藤幸男 税務経理協会
 新講経営分析 国弘員人 中央経済社

<演習 I>

- 会計測定の理論 井尻雄七 東洋経済
 企業目標と管理会計 佐藤宗弥 同文館
 連結企業集団の経営分析 野村健太郎 税務経理協会
 数理計画法 渡辺浩 (他) 筑摩書房
 多目標と階層組織の管理会計 門田安弘 同文館

土 方 久 <会計学原理>

- 複式簿記生成史論 泉谷勝美 森山書店
 近代会計の基礎理論 土方久 森山書店
 貸借対照表の展開 興津裕康 森山書店

井 上 康 男 <原価計算論>

- 現代原価計算論 青木茂男 税務経理協会
 原価計算 3訂版 岡本清 国元書房
 経営原価計算論 増補版 桜井通晴 中央経済社
 最新例解原価計算詳解 増訂版 松本雅男 (他)

春秋社

<管理会計論>

- AAA原価・管理会計基準 増補版 桜井通晴 中央経済社

糸 國 辰 雄 <商学総論>

- 現代の流通経済 橋本勲 (他) 有斐閣
 現代の流通機構 森下二次也 世界思想社

<中小企業論>

- 明日の中小企業 坂寄俊雄 (他) 法律文化社
 独占体制と中小企業 佐藤芳雄 有斐閣

<演習 II>

- 現代の低所得層 上・中・下 江口英一 未来社

大 矢 繁 夫 <証券論>

現代の証券市場と資本蓄積 金澤信 税務経理協会
株式価格形成の理論 川合一郎 日本評論社
金融・証券講座 全5巻 貝塚啓明(他) 東洋経済
証券経済論 鈴木芳徳 税務経理協会
証券市場読本 オ7版 中村孝俊(編) 東洋経済
<演習>

現代信用論 上・下 川合一郎(編) 有斐閣
日本の証券市場 川合一郎 東洋経済
日本証券市場成立史 野田正穂 有斐閣
戦後証券市場の構造分析 石原定和 千倉書房

白 櫻 三四郎 <経営心理学>

経営人事心理学 松浦健児(他) 朝倉書店
企業と組織 横田澄司(他) 至文堂
リーダーシップ 三隅二子二 ダイアモンド社
職場の人間行動 山田雄一(他) 有斐閣
組織と人間行動 正田亘(他) 泉文堂

<外書講読I>

西南学院大学 商学論集 19巻3号
21巻4号 22巻2号・3号 27巻2号 西南学院大

<演習I>

Group dynamics in Japan. Misumi
日本グループ・ダイナミックス学会
教育心理学 遠藤辰雄 学術図書
人間行動の心理学的考察 佐久間章(他) アカデミア出版会
人間探究の社会心理学 5 日本の社会心理学
横田澄司 朝倉書店
組織変革とPM理論 集団力学研究所(編) ダイアモンド社

<演習II>

現代アメリカ社会心理学 田中靖政(編訳) 日本評論社
グループ・ダイナミックス オ2版 I.II. カーライト 誠信書房
感受性訓練 ブラッドフォード(他) 日本生産性本部
教育心理学 ブレーン出版
集団システム論 ティラー 誠信書房

田 中 謙一郎 <経営工学>

文科系のためのコンピュータ入門 間野浩太郎(他) 実教出版
実用BASIC 大西正和 日刊工業新聞社
数値解析入門 山本哲朗 サイエンス社
やさしいコンピューター 竹内均 NHK

<演習I>

BASIC 刀根薫 培風館
企業モデルとシミュレーション 守谷栄一 マグロウヒル好学社

オペレーションズ・リサーチ演習 河田竜夫 培風館
詳解演習オペレーションズ・リサーチ 守谷栄一
日本理工出版会

経済学部

江 副 憲 昭 <近代経済学>

価格と市場の経済学 上野裕也(他) 有斐閣
近代経済学 新開陽一(他) 有斐閣
近代経済学(1) ミクロ経済の理論 奥口孝二 有斐閣

例解近代経済学講義(2) ミクロ経済学

藤野志朗(他) 有斐閣

テキストブック経済学 大石泰彦(他) 有斐閣

<外書講読I>

Economics. McConnell McGraw-Hill

Economics. Mansfield Norton

Economics. Wonnacott McGraw-Hill

価格理論とその応用 上・下 ハーシュライファー
マグロウヒル好学社

ミクロ経済学入門 奥野正寛 日経新聞社

<演習>

経済分析と微分・積分 尾崎巖 有斐閣
経済分析と線型代数 大成節夫 有斐閣
経済数学 岡本哲治(他) 有斐閣
経済数学のすすめ 岡本哲治(他) 有斐閣
経済数学入門 奥口孝二(他) 有斐閣

<演習(3年生)>

現代価格理論 全訂 ソロン 勁草書房
基本統計学 宮川公男 有斐閣
ミクロ経済学 バイラス 好学社
入門近代経済学 松沢俊雄 日本評論社
テキストブック統計学 岩田暁一 有斐閣

原 田 三喜雄 <農業政策>

自立するオ三世界と日本 川田侃 日本経営出版会
経済発展論 キンドルバーガー(他) 好学社
なぜ世界の半分以上が飢えるのか ジョージ 朝日新聞社
農村アジアへの挑戦 アジア開発銀行(編) 国際開発ジャーナル社

<演習I>

新しい社会の創造 エレラ ダイアモンド社
オ三世界 ユリ 日経新聞社
不均等発展 アミン 東洋経済
現代国際経済 川田侃(他) NHK
国際経済秩序の進展 ルイス 東洋経済

木 村 毅 <社会政策総論>

現代の労働運動 兵藤 釗 東大出版会
 高齢者の雇用保障 小林 謙一 御茶の水書房
 日本労働経済概説 山下不二男 日本労働協会
 労働と労働者の歴史 ルフラン 芸立出版
 労使関係の社会学 稲上毅 東大出版会

<社会政策各論>

現代日本の鉄鋼企業労働 石田和夫 ミネルヴァ書房
 現時の労働問題 隅谷三喜男 日本労働協会
 高齢化社会と年金 村上清 (他) 中央法規
 社会政策 (各論) 3訂版 大河内一男 有斐閣
 スウェーデンの社会政策 スウェーデン社会研究所

<演習 I・II>

賃金の経済学 田島司郎 (他) ミネルヴァ書房
 イギリス労働運動と社会主義 安川悦子 御茶の水書房
 自動車産業の労資関係 山本潔 東大出版会
 企業別組合の実態 河西宏祐 日本評論社
 転換期における労使関係の実態 労使関係調査会(編) 東大出版会

山 村 延 昭 <経済史総論>

原典イギリス経済史 浜林正夫 (他) 御茶の水書房
 イギリス農業発達史 オーウィン 御茶の水書房
 イギリス社会史 I トレヴェリアン みすず書房
 イングランド人民の歴史 モートン 未来社
 オープン・フィールド オーウィン 御茶の水書房

<演習 I・II>

中世都市 ビレンヌ 創文社
 ギルドの解体過程 アンウィン 岩波書店
 イギリス経済史概説 上・下 クラバム 未来社
 イギリス荘園の成立 ウィノグラードフ 創文社
 マホメットとシャルルマーニュ ビレンヌ 創文社

法 学 部

蓮 井 良 憲 <商法II>

改正株式会社法解説 北沢正啓 税務経理協会
 改正会社法解説 竹内昭夫 有斐閣
 改正商法逐条解説 元木伸 商事法務研究会
 改正商法の実務解説 小山敬次郎 (他) 商事法務研究会

堀 真 清 <政治史>

1億人の昭和史・日本人 7 三代の宰相たち 毎日新聞社
 重臣たちの昭和史 上・下 勝田龍夫 文芸春秋
 日本内閣史録 全6巻 林茂 (他) オ一法規

<演習>

比較ファシズム研究 河原宏 (他) 成文堂
 北一輝著作集 全3巻 北一輝 みすず書房
 「北一輝」論集 五十嵐暁郎 三一書房

今 井 威 <憲法>

議院内閣制の研究 今井威 大学教育社
 憲法 II 人権 (1) 芦部信喜 有斐閣
 憲法 II 人権 (2) 芦部信喜 有斐閣
 憲法講義 I 清水陸 (他) 有斐閣
 憲法講義 II 大須賀明 (他) 有斐閣

川 上 宏二郎 <行政法II>

現代行政法入門 (1) 室井力 (編) 法律文化社
 行政法 I 藤田宙靖 青林書院新社
 行政法体系 奥原唯弘 (他) 啓正社
 行政改革の法理 室井力 学陽書房
 社会保障行政法 園部逸夫 (他) 有斐閣

<行政法演習>

現代行政法の諸問題 横重博 有斐閣
 行政法 下 下山瑛二 (他) 青林書院新社
 行政法ゼミナール教材 和田英夫 (編) 有斐閣
 セミナー公務員法 田中館照橋 ぎょうせい
 市民のための行政争訟 北野弘久 (他) 勁草書房

<地方自治法>

地方議会 西村弘一 学陽書房
 地方議会百条調査の実務 中島正郎 学陽書房
 福祉行政・公有財産条例 高田敏 (編) 学陽書房
 事例に学ぶ自治紛争の予防と解決 関哲夫 公務職員研修協会
 例解・地方自治法 田中館照橋 公務職員研修協会

河 島 幸 夫 <政治思想史>

ドイツ現代政治思想史 ヘラー 御茶の水書房
 人権の思想 フーバー (他) 新教出版社
 人権宣言論争 初宿正典 みすず書房
 キリスト教史 全11巻 講談社
 トレルチ著作集 全巻 トレルチ ヨルダン社

<外書講読>

ベルリン 1923-28年 平井正 せりか書房
 ドイツ総決算 グロセール 社会思想社
 概説ドイツ史 望田幸男 (他) 有斐閣
 現代ドイツ政治教育史 藤沢法映 新評論
 宗教改革の精神 宮田光雄 創文社

<演習>

ブルームハルト父子 井上良雄 新教出版社
 きみたちと現代 宮田光雄 岩波書店
 キリストの証人たち 全7巻 日本基督教団出版
 日本の政治宗教 宮田光雄 朝日新聞社
 天皇制国家と神話 戸村政博 日本基督教団出版

中 尾 英 俊 <民法>

川島武宣著作集 全巻 川島武宣 岩波書店
 家族の法と歴史 有地亨 (他) 法律文化社

西 井 龍 生 <民法>

不当労働行為論 中山和久 一粒社
 川島武宣著作集 全巻 川島武宣 岩波書店
 家族の法と歴史 有地亨 (他) 法律文化社
 刑事労働裁判の展開 島田信義 一粒社

高 田 源 清 <経済法>

独占禁止法 新版 今村成和 有斐閣
 独占および寡占市場構造規制の法理 丹宗昭信 北大図書出版会
 経済法 新版 金沢良雄 有斐閣
 経済法・独占禁止法 江上勲 税務経理協会
 企業行動の法規制 布村勇二 晃洋書房

高 橋 貞 夫 <労働法 I・労働法>

コンメンタール労働組合法 中山和久 (他) 有斐閣
 現代労働法講座 才 1・3・4・6 巻

日本労働法学会 (編) 総合労働研究所

<労働法 II・労働法>

労働法講義 3 西村建一郎 (他) 有斐閣
 労働契約 III 東大労働法研究会 (編) 有斐閣
 労働基準法 橋詰洋三 総合労働研究所
 労働協約・就業規則 本多淳亮 一粒社
 労災補償法の研究 荒木誠之 総合労働研究所

<演習>

不当労働行為論 中山和久 一粒社
 刑事労働裁判の展開 島田信義 一粒社
 基本マスター労働法 日外善八郎 (他) 法学書院
 労働法演習 1・2 新版 有泉亨 (他) 有斐閣

田 村 茂 夫 <商法 I>

銀行取引と消費者保護 塩田親文 有斐閣
 商法研究 I・II・III 鈴木竹雄 有斐閣
 有価証券振替決済制度の研究 河本一郎 有斐閣

<商法 II>

改正商法の概要 法務省民事局参事官室 (編) 商事法務研究会
 会社法人格否認の法理 江頭憲治郎 東大出版会
 企業会計法の理論 矢沢淳 有斐閣
 商法改正に関する各界意見の分析 元木伸 (他) 商事法務研究会

昭和56年商法等改正関係

衆参両院法務委員会議録 (抄) 商事法務研究会

<演習>

演習ノート会社法 奥島孝康 (編) 法学書院
 考える手形・小切手法 倉沢康一郎 (他) 弘文堂
 司法試験シリーズ 4 商法 加美和照 (編) 日本評論社
 商法の争点 北沢正啓 (編) 有斐閣
 有価証券法の基礎理論 小橋一郎 日本評論者

田 辺 康 平 <商法 I>

改正会社法解説 竹内昭夫 有斐閣
 改正商法逐条解説 元木伸 商事法務研究会
 改正商法の実務解説 小山敬次郎 (他) 商事法務研究会

新銀行法の解説 大蔵省銀行局 (編) 金融財政
 商法研究 I 鈴木竹雄 有斐閣

<商法 III>

現代会社法 新版 河本一郎 商事法務研究会
 会社法 服部栄三 文真堂
 会社法論 上巻 新版 大隅健一郎 (他) 有斐閣
 考える手形・小切手法 倉沢康一郎 (他) 弘文堂
 手形法・小切手法 木内宣彦 勁草書房
 手形・小切手法 服部栄三 文真堂

<商法 IV>

注釈自動車損害賠償法 木宮高彦 (他) 有斐閣
 会社法 全訂才 2 版 鈴木竹雄 弘文堂
 海洋法二十五年 小田滋 有斐閣
 商法研究 II・III 鈴木竹雄 有斐閣

教 職 課 程

久 屋 孝 夫 <英語科教育法>

コインズの詩 臼杵加菜恵 三友社
 英語教育シリーズ 全 6 巻 中教出版
 かならずわかるたのしい英語 中学 1・2・3 年 (全 3 冊) 大浦暁生 (他) 麦の芽出版会
 子どもと創る英語教育 群馬新英研 (編) 三友社
 教科書を使いこなす工夫 吉沢美穂 大修館
 学びへの旅立ち 尾形憲 時事通信社
 たのしい自己表現ノート (全 3 冊) 神津毅夫 三友社